

## 施設評価シート（一般）

（平成22年度事業）

施設名	備前市閑谷の森	問	担当課（室）	農林水産課		
		合	職・氏名	係長 藤森 亨		
			先	電話	0869-64-1830	
所在地	備前市閑谷 8 2 3 番地の 1 他 2 5 筆	所属長職・氏名		課長 横山 雅一		
		このシート作成に要した時間		2.0 時間		
建物建設費	35,772 千円	財	国県等補助金	0 千円	建設年月	平成 8 年 3 月
			市債・一般財源等	35,772 千円	耐用年数	年

根拠法令等の有無	○あり ●なし	名称	備前市閑谷森林公園設置条例			
総合計画上の位置付け	基本目標	04	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり	基本施策	01	豊かな食を支えるまちづくり
	施策	02	林業	事務事業名	01	治山林道整備事業

対象	（この施設運営によりサービスを受けるのは誰か？） 森林浴を楽しむ人、県管理の閑谷学校の研修生				
目的	（この施設運営によってどのような状態を目指しているのか？） 優れた自然環境にある森林を保護するとともに、自然の観察及び探究を通じて市民の自然への理解及び自然とのふれあいを求め、市民の福祉の増進に資するため、備前市閑谷森林公園の設置を行なった。				
施設内容 規模 料金体系	施設内容	規模	料金体系（直近の改定：平成 年 月）		
	遊歩道 W=1.5m	L=3km 面積112ha			
管理運営方法	<input type="radio"/> 指定管理者制度導入 <input type="radio"/> 一部委託 <input checked="" type="radio"/> すべて直営		（指定管理者名 又は 一部委託の内容） 現在は、簡易な維持補修は、研修で利用している閑谷学校の職員が行なってくれている。		
類似施設の状況	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> 本市所管 <input type="checkbox"/> 近隣市町、民間その他		（施設名及び施設の概要） 伊部大滝山生活環境保全林、吉永町南方生活環境保全林		

経費	項目		平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	単位
	費	人件費	正規職員	人	人	人
臨時職員			人	人	人	人/千円
指定管理料					千円	
維持補修費					千円	
物件費					千円	
その他（                    ）					千円	
減価償却費		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	千円	
合計		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	千円	
財源	特定財源	使用料				千円
		その他				千円
一般財源		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	千円	
指定管理者の利用料金収入等					千円	
年間利用者数		10,220	9,930	10,150	人	
利用者1人当たりコスト（一般財源）		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	円	
受益者負担率		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	%	

稼 動 実 績	平成22年度 (単位:日,人)													
	種別\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	開館日数	29	31	30	31	31	30	31	28	27	28	28	29	353
	閑谷の森	2,350	2,500	1,010	1,000	850	520	560	500	180	190	190	300	10,150

施 設 の 妥 当 性	社会・経済情勢の変化等により、施設のニーズが薄れていないか？		
	<input checked="" type="radio"/> 薄れていない <input type="radio"/> 薄れている	判断理由	岡山県青少年教育センター閑谷学校の研修のオリエンテーリングで利用する人数が大半を占めるのが現状であるが、閑谷学校、史跡を訪れた人も森林浴を楽しまれている。
	そもそも市が設置・運営すべき施設か？		
	<input type="radio"/> 設置すべきである <input checked="" type="radio"/> 必ずしも設置する必要はない	判断理由	上記の判断理由からも市が運営を行なうより、利用者数が多い岡山県に管理移管してはどうか。
施設を廃止した場合の市民生活への影響は？			
<input checked="" type="radio"/> 影響が大きい <input type="radio"/> 影響はさほどない	判断理由	施設のみを利用する人は少ないが、閑谷学校の研修で利用していることが多く、廃止については岡山県（閑谷学校）と協議が必要だと思われる。	

施 設 の 効 率 性	施設の利用状況は順調か？		
	<input checked="" type="radio"/> 順調である <input type="radio"/> 順調でない	判断理由	岡山県青少年教育センター閑谷学校の研修のオリエンテーリングで多くの人が利用している。また、閑谷学校、史跡を訪れた人も森林浴を楽しまれている。
	受益者負担は適正か？（施設の性質別に設定されている負担割合と比べてどうか）		
	<input type="radio"/> 適正である <input checked="" type="radio"/> 見直す余地がある <input type="radio"/> 受益者負担は求められない	判断理由	研修施設の一部として大半を利用している岡山県と管理について協議をする必要があるが、まだ協議に至っていない。
	類似施設との統合可能性はあるか？		
	<input checked="" type="radio"/> 統合は可能 <input type="radio"/> 統合は不可能	判断理由	類似施設ではないが、近隣の岡山県青少年教育センター閑谷学校の研修施設の一部としてなら統合の可能性があると思われる。
管理運営に係るコストを削減する余地はあるか？			
<input type="radio"/> 削減の余地はある <input checked="" type="radio"/> 削減の余地はほとんどない	判断理由	簡易的な維持管理については、閑谷学校の職員が対応しているので、本市が管理運営に係るコストを削減する余地はない。	

平成23年度の状況及び管理運営の改善案	研修施設の一部として今年度も約4,000人が利用し順調である。
---------------------	---------------------------------

施設修繕・大規模改修費用（今後5年間：平成24年度から平成28年度）							
毎年経常的に必要な修繕費	内 容		金額（千円）	今後5年間に必要となる大規模改修費	内 容		金額（千円）
	特になし				特になし		

判 定	<input type="checkbox"/> 廃止・閉鎖が可能	判 定 理 由	近隣の岡山県青少年教育センター閑谷学校での研修の一部として利用している人数が大半を占めているので、岡山県が管理移管に応じてくれれば、施設統合の可能性もあるかもしれない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 類似施設との統合が可能 <input type="checkbox"/> 民間又は地域等への譲渡が可能 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度の導入が可能 <input type="checkbox"/> 事務等一部委託が可能 <input type="checkbox"/> 現在の管理運営形態が望ましい		